

## 【入力時の注意】

- ・本文は5ページ以内で作成してください。1ページで40字×40字=1600文字です。
- ・全角で入力してください。フォント：MSゴシック フォントサイズ：10で設定しています。
- ・フォントの変更や下線・文字飾り、図形(テキストボックス含む)の挿入は不可とします。
- ・表示タブのグリッド線に☑チェックしている状態でご使用下さい。

## 本学の特色

豊かな歴史と文化が共存する、恵まれた研究環境

奈良大学は奈良市北西部のなだらかな丘陵地に位置し、キャンパス周辺には、学術的にも貴重な神社や寺院、遺跡などが多数点在します。また、関西文化学術研究都市に隣接し、国立国会図書館関西館からもほど近く、恵まれた研究環境といえます。交通アクセスも京都・大阪から1時間圏内と至便です。

## 実践・体験重視の教育ポリシー

実践的な学びを推進

奈良大学では、各学部・学科の授業で、“歩く、見る、聞く、触れる、感じる”といった実践的な学びを積極的に推進しています。学生は、受け身ではない能動的な学習を通して、さまざまな経験をし、理論と技術を身につけ、同時に自立心や主体性を養います。全学科を通して、キャンパス周辺の恵まれた環境を活かし、本物を題材に研究したり、学外へ飛び出し臨地講義を盛んに行っています。また、地域や企業と連携を図りさまざまなプロジェクトを展開しており、大学と社会のつながりを実感しながら学びを深めています。

## 奈良大学のフィールドワーク

本物に触れ、社会とかかわりながら、問題を解決する力を身につける

本学では、本物を題材にした研究や、学外に飛び出して行われる実習などのフィールドワークを、実践的な学びとして積極的に推進しています。

フィールドワークの目的は3つあります。

1つ目は、「本物に触れる」こと。遺跡の発掘、古文書の読解などを体験することで、貴重な知識を習得できます。

2つ目は、「社会とのかかわり」です。地元商店街でのアンケート調査など、地域社会や企業の現場で活動することで、社会を知り、コミュニケーションを取ることは、将来、社会へ出たときに大きな財産となります。

3つ目は、社会とかかわることで、本当に求められる「問題解決能力」を身につけることです。机上だけではない、体験型の学びを通して、実践力を磨きます。

国文学科：見て、触れて、聴いて、国文学の世界を体感する

文学作品の舞台を巡ったり、言語景観を観察したり、「本物」を実際に体験する学びを重んじています。

実地見学や実習などのリアルな体験を通じて、作品世界を多角的な視点で捉える力を磨きます。

史学科：「実物」の史料をもとに歴史を紐解く

「現場に行く、実物を見る」を重視し、自らの経験をもとに“考える歴史学”を学びます。先人が遺した情報を本物の史料から発見することで、日本史・世界史を紐解く喜びや感動が深まります。

地理学科：現地を歩いて見て巡り、学びを深める